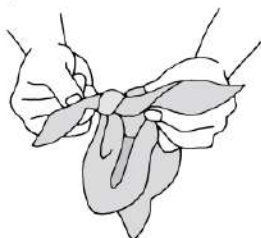


1 ほどけるハンカチ

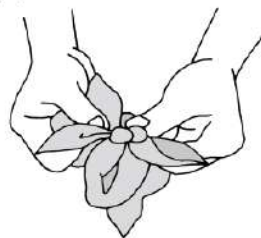
相手から見たところ

図1



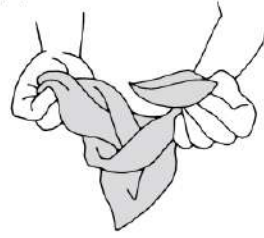
演者はハンカチの両端をからめます。

図2



相手に一度しっかりと結んでもらいます。

図3

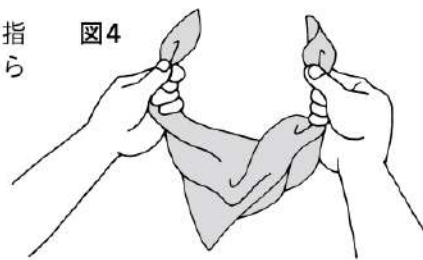


演者が息を吹きかけると、ゆっくりと結びめがほどけてしまいます。

やり方

- 1 | ハンカチの対角線上の角を左右の指先で持ちます。持つ位置は端から10cmくらいの所です。

図4



- 2 | 右手の端（つまんでいる部分）を左手の上に重ね（図5）、左手の親指でしっかりと押さえます（図6）。

図5

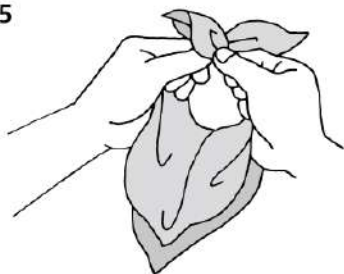
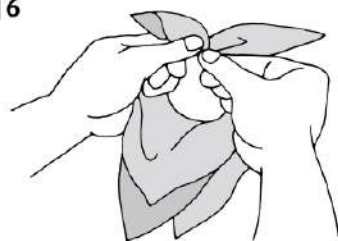


図6



- 3 | 右手の人さし指と親指をハンカチの下にくぐらせて右端をつかみ（図7）、ハンカチの下からその端を手前に引き出します（図8、9）。

図7



図8

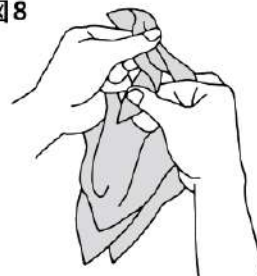
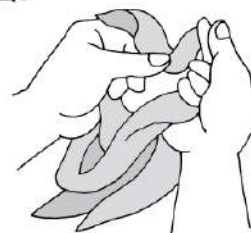


図9



- 4 | この状態で2つの端を相手に結んでもらいますが、この時に左手の親指で最初に押さえた部分をしっかりと保持しておきます。

- 5 | 一見するとハンカチはしっかりと結ばれたように見えますが、親指を緩めると「ゆっくりと」ほどけてしまいます。

図10

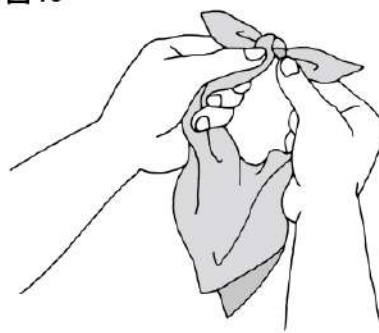
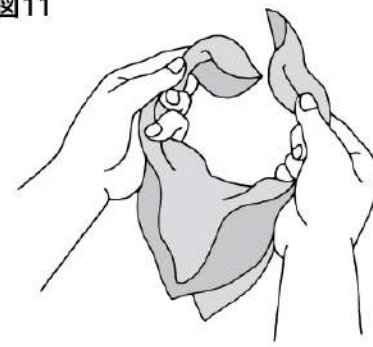


図11



ポイント

ハンカチがほどけてゆくシーンはちょっとした見ものです。まるでCGかのようにゆっくりと動いていくのです。相手にしっかりと結んでもらったら、演者はじっくりとその結びめを見つめ、軽く息を吹きかけるようにするといいでしょう。このちょっとした動作をすることで、シンプルな手品がまるで魔法のように見えるのです。